ニュースコンテナー

No. 520　発行　2022年9月10日

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社
〒336 -0015　さいたま市南区大字太田窪 2051-2
TEL.0120-01-2590　FAX.048-886-2817
URL：www.knights.co.jp

自衛隊施設における泡消火設備専用水槽水質調査結果について

防衛省では、2019 年度に策定した「防衛省におけるPFOS処理実行計画」に基づき、これまで、全国の基地等におけるPFOS含有消火薬剤等の処理（交換・処分）を進めるなど、環境に配慮した取組みが行われてきました。

この度、2021 年度に実施された全国の基地等における泡消火設備専用水槽の PFOS 及び PFOA について、水質調査の分析結果が公表されました。

今回の水質調査によりPFOS等の混入が確認された水槽水については、漏出等が生じないよう引き続き適切に管理するとともに、処分を進める方針となっています。

【調査結果概要】

・調査対象水槽：全国の防衛省・自衛隊施設において、過去にPFOS等を含む泡消火薬剤を使用していた可能性がある泡消火設備専用水槽

・調査水槽数:229 水槽

・PFOS及びPFOAの合算値が 50ng/Lを超過した水槽数:125 水槽

・PFOS及びPFOAの合算値が 50ng/L以下であった水槽数:104 水槽

【参考】

※水環境中の暫定目標値（PFOS及びPFOAの合算値で 50ng/L）は、公共用水域等に適用されるものであり、泡消火設備専用水槽に適用されるものではありません。

調査結果の詳細は、下記 URL にて公表されています。

https://www.mod.go.jp/j/press/news/2022/07/22e.pdf

当社では、泡消火薬剤や水質等の PFOS 及び PFOA の分析を行っています。お気軽にお問合せください。

資料　2022 年 7 月 22 日付　防衛省報道発表資料

有機分析箇所　長谷川知草

令和 3 年度末の汚水処理人口普及状況について

環境省、農林水産省、国土交通省は、2021 年度末時点における全国の汚水処理人口普及状況を合同で調査を行い、その結果を取りまとめました。

全国の汚水処理施設の処理人口は、1 億 1,621 万人となり、この数字を総人口に対する割合でみた汚水処理人口普及率は、92.6％（2020 年度末については、92.1%）となりましたが、未だに約 930 万人が汚水処理施設を利用できない状況です。

この普及状況は、大都市と中小市町村で大きな差があり、特に人口 5 万人未満の市町村の汚水処理人口普及率は 82.7％（2020 年度末については、81.9％）と、全国平均からいまだ大きく後れている状況です。

関東地方では、東京都（99.8％）が最も普及率が高く、次いで神奈川県（98.3％）、埼玉県（93.6％）、千葉県（90.1％）、栃木県（88.8％）、茨城県（86.8％）、群馬県（83.1％）という結果でした。

処理人口を各処理施設別にみると、下水道によるものが 1 億 118 万人（総人口に対する普及率 80.6％）、農業集落排水施設等によるものが 310 万人（同 2.5％）、浄化槽によるものが 1,176 万人（同 9.4％）、コミュニティ・プラントによるものが 17 万人（同 0.1％）でした。

当社では、多くの排水項目の分析について長年の実績があり、短納期での対応が可能です。ご不明な点等ありましたら、是非一度ご相談下さい。

資料　2022 年 8 月 25 日付　環境省報道発表資料

環境検査箇所　武井友宏

下記の記事をご希望の方は編集室佐藤までご連絡下さい。

1. 低濃度 PCB 廃棄物の無害化処理の認定申請について

耳より情報

消毒副生成物の検査の期間です！

特定建築物に該当する建物は、定期で水質検査が義務付けられています。
中でも消毒副生成物の12項目は、水質検査の実施時期が決められており、
6月～9月の間に実施する必要があります。詳しくは下記URLからもご覧いただけます。
特定建築物における水質検査:https://www.knights.jp/knightsreport/reports/KR08005.pdf

お問い合わせはこちら

お問合せはこちら